

## 1. 研修概要

### (1) 日時

れいわ ねん がつ にち きん  
令和8年1月30日(金) 10:00 ~ 12:00

### (2) 対象・出席者

かくかかかちちようきゆうしよくいん けい めい  
各課係長級職員 計42名

### (3) 講師

とうかいこくりつだいがくきこう ぎふだいがく ぐるーかるすいしんきこう にほんご にほんぶんかきょういくせんたー じよきょう まつお のり し  
東海国立大学機構 岐阜大学 グローカル推進機構 日本語・日本文化教育センター 助教 松尾 憲暁 氏

### (4) 研修内容

こうぎ がいこくせきしみん と ま げんじよう たぶん かきょうせい ひつようせい  
① 講義: 外国籍市民を取り巻く現状と多文化共生の必要性について

わーくしよっ ぶ ほんけいかく ぐたいてきとりく けんとう あら だ  
② ワークショップ: 本計画における具体的な取組みの検討・洗い出し

## 2. ワークショップの結果(主要施策案の整理)

ぎようむじよう かんれん ふか ぶしよ ぐるー ぶ こんせい げんぼ かだい そく ぐたいてき と くみ あいであ だ  
業務上の関連が深い部署ごとにグループを構成し、現場の課題に即した具体的な取り組みのアイデアを出し

あ かくぐるー ぶ いけん きようゆう あと じつげんかのうせい こうか かんてん ゆうせん とりく あいであ  
合あった。各グループで意見を共有した後、「実現可能性」と「効果」の観点から優先すべき取り組みのアイデアを

3 つずつ選出した。

せんしゆつ あいであ い か してん もと しゆうやく  
選出されたアイデアを以下の3つの視点に基づき集約した。

でじたる かつよう じようほう ぼりあふりー じようほう せいかつしえん  
① デジタル活用による情報バリアフリー(情報・生活支援)

しやくしよまどぐち たげんごたいおう じゆうじつ  
・市役所窓口の多言語対応の充実

ちようしゃないでじたる まっ ぶ かつよう かくか ほんやくようたぶ れつと ほんやくき はいび  
庁舎内デジタルマップ(QR活用)、各課への翻訳用タブレット・翻訳機の配備。

こうてきじようほう たげんごか  
・公的情報の多言語化

SNS での多言語発信、ゴミ出し等の生活情報の「やさしい日本語」化、文書作成への AI翻訳ツール

どうにゅう きかいかいぎろく たげんごたいおう  
導入、議会会議録の多言語対応。

えーあい しかくじょうほうなど かつよう せいかつさ ぽーと  
・AI・視覚情報等の活用による生活サポート

じょうほう ず いらすと もち しかくてきかいぜん すまほ かめら 機能をつか ごみ ぶんべつ はんていきのう どうにゅう  
情報の図・イラストを用いた視覚的改善、スマホのカメラ機能を使ったゴミ分別判定機能の導入。

## ② 相互理解の促進と次世代育成(交流・教育)

たいけんがたこうりゅう すいしん  
・体験型交流の推進

す ぽーと こうりゅうしあい しゅうかくたいけん じっし  
スポーツ交流試合や収穫体験を実施。

きょういく がくしゅうしえん  
・教育・学習支援

ようしょうき こくさいこうりゅうきかい そうしゆつ にほんご がいこくご そうごがくしゅうけんしゅう じっし  
幼少期からの国際交流機会の創出、日本語・外国語の相互学習研修の実施。

ちいききばん せいび  
・地域基盤の整備

ちいき がいこくじんじゅうみん せわやく きーまん いくせい  
地域における外国人住民の「世話役(キーマン)」の育成。

## ③ 行政組織の基盤強化(組織・体制)

せんもんぶしょ じんいん かくほ  
・専門部署・人員の確保

せんもんぶしょ たぶん がきょうせいすいしんかなど せっち つうやくす たっふ せっち がいこくせきしよくいん さいよう  
専門部署(多文化共生推進課等)の設置、通訳スタッフの設置、外国籍職員の採用。

がいこくせきしよみん こえ ほんえい  
・外国籍市民の声の反映

がいこくせきしよみん いけん ちよくせつき いけんこうかんかいなど ぼ せっち  
外国籍市民の意見を直接聞くことができる意見交換会等の場の設置

しよくいん たようか すきる あっぶ  
・職員の多様化とスキルアップ

たこく じんじこうりゅう しよくいん ほんやくきかつようす きる しゅうとく  
他国との人事交流、職員の翻訳機活用スキル習得。